

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年5月15日

【2017年5月6日～2017年5月12日までの推移】

【1】先週の回顧

先週は、対円、対米ドルともに、リアルは上昇しました。2年国債金利は低下しました。

下院特別委員会で、社会保障改革法案が承認されたことや、下院本会議で法案が可決されることへの楽観的な見方を背景に、ブラジルの為替市場や債券市場は上昇しました。

一部の報道機関は、社会保障改革法案の下院採決について、政府の下院議員の説得により、賛成多数で可決される見込みと報道しています。

国債金利については、発表されたインフレ率が継続的に上昇幅を縮めていること、小売売上高が予想を下回ったことも材料になりました。これを受けて、中央銀行が今後も積極的な利下げを行っていくとの見方が強まり、金利が低下しました。

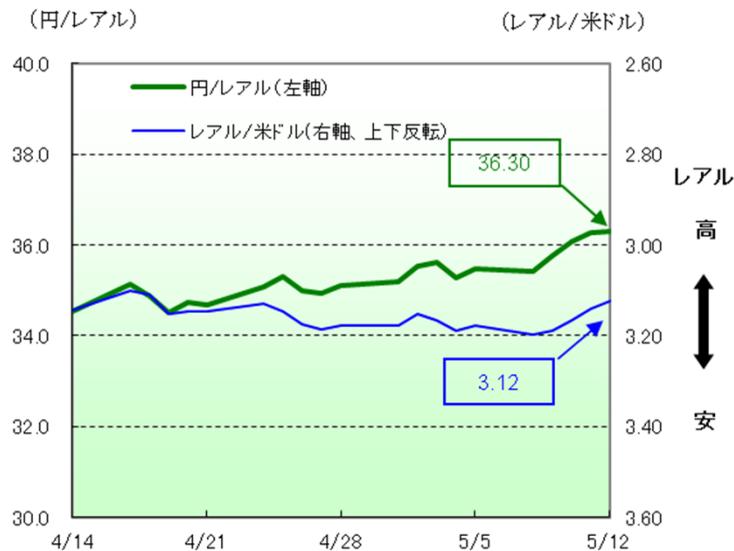
【2】今週の見通し

今週は、経済活動指数などの発表があります。中央銀行の金融緩和政策が、景気浮揚に効果を発揮するかが注目されます。

5月末に下院で採決が行われるとみられる社会保障改革法案について楽観的な見通しが広がっていることや、地政学リスクへの懸念が足元は和らいでいることを背景に、ブラジル金融市場は堅調に推移することが見込まれます。

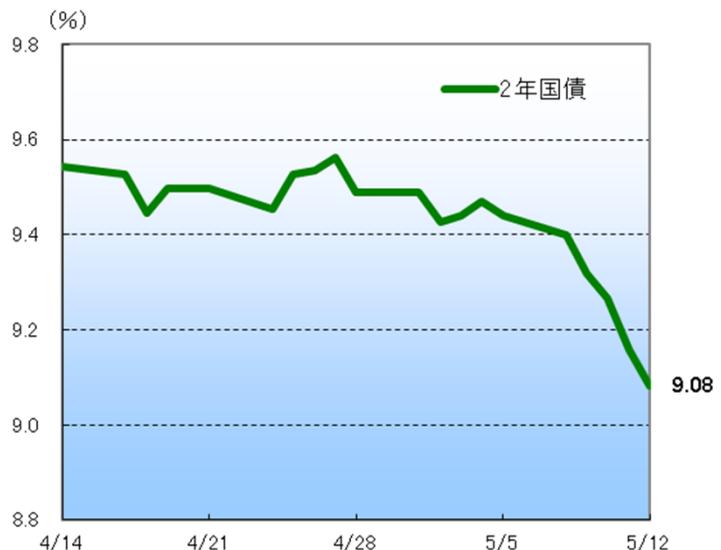
引き続き、社会保障改革を含む構造改革が注目されます。公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発がみえますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられ、構造改革期待を背景としたブラジルへの投資活発化を通じてブラジル・リアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・リアル 為替推移】(2017年4月14日～2017年5月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年4月14日～2017年5月12日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>